



## クレマチスの丘広域的活用構想（案）



令和5年6月  
クレマチスの丘広域的活用構想検討会議

白 紙

# 目次

## 第1章 趣旨

- (1) 経緯 ..... 6
- (2) 要望書の内容 ..... 7
- (3) クレマチスの丘について ..... 8
  - ①クレマチスの丘施設の構成
  - ②都市計画法における位置付け
- (4) ヴァンジ彫刻庭園美術館について ..... 10
  - ①施設の概要
  - ②資産の状況

## 第2章 クレマチスの丘の広域的活用

- (1) 文化の力と期待される効果 ..... 13
- (2) 国内の好事例 ..... 14
- (3) 目指す姿 ..... 15
- (4) 本県の文化振興の考え方 ..... 16
- (5) 計画におけるクレマチスの丘の位置付け ..... 17
- (6) 文化拠点としてのクレマチスの丘 ..... 18
- (7) ヴァンジ彫刻庭園美術館の休館影響 ..... 19
- (8) 活用の方向性 ..... 20

## 第3章 新たな文化施設の展開

- (1) コンセプト ..... 22
- (2) 【柱①】県立施設等のサテライト機能や新たな文化事業の展開 ..... 23
- (3) 【柱②】市町事業の展開 ..... 24
- (4) 【柱③】施設・庭園を活用した多目的利用 ..... 25
- (5) 新たな文化施設の概要 ..... 26

## 第4章 新たな文化施設の事業スキーム

- (1) 事業スキーム ..... 28
- (2) コスト試算 ..... 29

## 第5章 東部地域の文化振興ネットワークの構築

- (1) 県、市町及び関係施設等の連携 ..... 31
- (2) 広域文化活動拠点へ ..... 32
- (3) 東部地域の関連施設と連携した地域づくり ..... 33

## 資料集

白 紙

# 第1章 趣旨

# 第1章 趣旨 (1) 経緯

令和3年11月、ヴァンジ彫刻庭園美術館（駿東郡長泉町東野）から、県に対し、施設及び土地の無償譲渡を含む存続に向けての支援に係る要望書の提出があった。また、東部3市2町（長泉町、沼津市、三島市、裾野市、清水町）からも同館の存続・活用に係る要望書が提出されたため、県が中心となって検討を進めている。

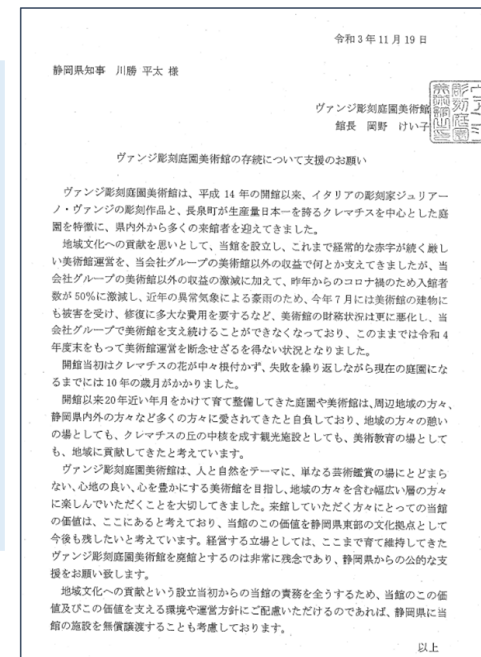
日付	内容
令和3年10月29日	岡野副館長及び長泉町長が知事と面談し、存続支援を要望
令和3年11月19日	知事が美術館を視察した際に、同館及び東部3市2町から要望書提出
令和4年1～3月	ヴァンジ彫刻庭園美術館対応検討会開催
令和4年5月31日	ヴァンジ彫刻庭園美術館対応検討会報告書公表
令和4年8月10日	東部地域文化施設等検討調査業務委託契約（6月補正予算事業）
令和4年11月10日	調査報告書（活用コンセプト案）提出
令和4年12月14日	新たな活用コンセプト（案）等の公表（12月県議会）
令和5年2月21日	サンフロント21懇話会による知事への提言
令和5年2月27日	クレマチスの丘広域的活用構想検討会議設置
令和5年3月1日	クレマチスの丘広域的活用構想策定に向けた考え方を報告（2月県議会）

# 第1章 趣旨 (2) 要望書の内容

## ◆「ヴァンジ彫刻庭園美術館の存続について支援のお願い」（令和3年11月19日）

ヴァンジ彫刻庭園美術館は、人と自然をテーマにし、単なる芸術鑑賞の場にとどまらない、心地の良い、心を豊かにする美術館を目指し、地域の方々を含む幅広い層の方々楽しんでいただくことを大切にしてきました。来館していただく方々にとっての当館の価値は、ここにあると考えており、当館のこの価値を静岡県東部の文化拠点として今後も残したいと考えております。経営する立場としては、ここまで育て維持してきたヴァンジ彫刻庭園美術館を廃館とするのは非常に残念であり、**静岡県からの公的な支援をお願い致します。**

地域文化への貢献という設立当初からの当館の責務を全うするため、当館のこの価値及びこの価値を支える環境や運営方針にご配慮いただけるのであれば、**静岡県に当館の施設を無償譲渡することも考慮しております。** (一部抜粋)



### <無償譲渡の内容（ヴァンジ彫刻庭園美術館からの聞き取り）>

区分	内容	現在の所有者
美術館敷地	約24,000m <sup>2</sup>	一般社団法人ヴァンジ彫刻庭園美術館
美術館 (展示棟)	2002年築・鉄筋コンクリート造 延べ床面積約1,730m <sup>2</sup>	シヤンドシヤ・システム株式会社
チケットセンター	2004年築・鉄骨造 延べ床面積約150m <sup>2</sup>	シヤンドシヤ・システム株式会社
レストラン (2棟)	2009年築・鉄筋コンクリート造/鉄骨造 延べ床面積約655m <sup>2</sup>	エム・ケー・シー株式会社
ショップ (3店舗)	2002年築・鉄骨造 延べ床面積約471m <sup>2</sup>	エム・ケー・シー株式会社
ガーデンカフェ	2003年築・木造 延べ床面積約38m <sup>2</sup>	エス・ジイ・インベストメント・リソーシス株式会社
美術品	彫刻2点・絵画4点 版画・デッサン55点	岡野家 及び エス・ジイ・インベストメント・リソーシス株式会社

# 第1章 趣旨 (3) クレマチスの丘について

## ①クレマチスの丘施設の構成



施設	運営者	概要
ベルナルル・ビュフェ美術館 ビュフェこども美術館 (※1)	一般財団法人 ベルナルル・ビュフェ美術館	1973年開館 フランスの画家ベルナルル・ビュフェ 作品2000点以上を所蔵・展示
IZU PHOTO MUSEUM (イズ・フォト・ミュージアム) <休館中>		2009年開館 写真・映像に関する展示 杉本博司氏による内装
長泉町井上靖文学館 (※2)	長泉町 (R3~) *R2以前は一般財団法人 井上靖文学館	1973年開館 「あすなろ物語」中の歌にちなみ現 地に開館、希少な書籍、原稿、愛 用品等を展示
駿河平自然公園	長泉町	総面積43,000㎡ 長さ130mの吊り橋や芝生広場、 湧水池など
ヴァンジ彫刻庭園美術館	S G I R M K C C & C	2002年開館 イタリアの彫刻家ジュリアーノ・ヴァン ジ作品やクレマチスガーデンなどで 構成

( S G I R = エス・ジイ・インベストメント・リソース(株)  
M K C = エム・ケー・シー(株)  
C & C = シイアンドシイ・システム(株) )

- ※1 ベルナルル・ビュフェ美術館
- 一般財団法人ベルナルル・ビュフェ美術館 (理事長: 大石剛・前静岡新聞社社長) が運営。
  - 一般財団法人ベルナルル・ビュフェ美術館は、ベルナルル・ビュフェ美術館の美術作品の一部及びヴァンジ彫刻庭園美術館の彫刻作品の大半を所有し、後者についてはヴァンジ彫刻庭園美術館 (エス・ジイ・インベストメント・リソース(株)) へ貸与している。
- ※2 井上靖文学館
- 一般財団法人井上靖文学館 (理事長 (解散時): 勝呂奏・桜美林大学教授) が運営していたが、2021年3月に財団が解散し、長泉町に事業譲渡された。
  - 長泉町が改装工事を行った後、2021年7月17日に町営として再開館した。

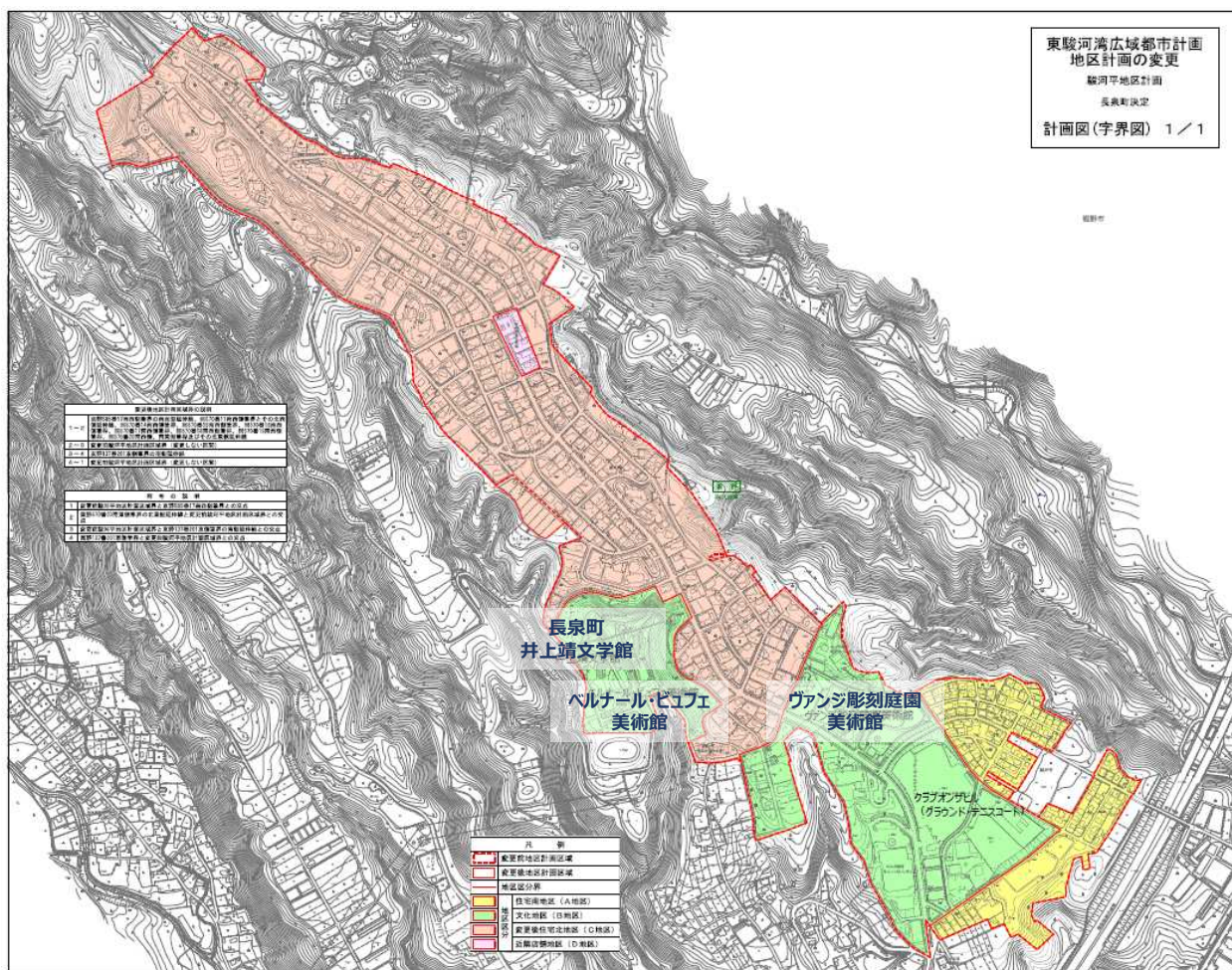


# 第1章 趣旨 (3) クレマチスの丘について

## ②都市計画法における位置付け

クレマチスの丘がある駿河平地区は、都市計画法に基づき長泉町が策定する「駿河平地区計画」において、良好な街並みを計画的に形成するため建築物等の用途が制限されている。

日付	内容	根拠
S45.6.18	旧住宅地造成事業に関する法律に基づく開発行為により造成	
S47.5.8	市街化調整区域として区分	都市計画法第7条
H18.3.31	「駿河平地区計画」策定 ※クレマチスの丘周辺は「文化地区」に区分	都市計画法第12条の4



＜駿河平地区計画より（抜粋）＞

### (1) 土地利用の方針

町民や来訪者を対象とした文化施設や観光施設、並びに、会社等の事務所や研修所等が立地する地区を形成していく。

### (2) 建築物等の用途制限

次に掲げる建築物は建築してはならない。

1. 一戸建ての専用住宅、兼用住宅
2. 共同住宅、寄宿舍又は下宿
3. 神社、寺院、教会等
4. 老人ホーム、身体障害者福祉ホーム等（保育所は除く）
5. 老人福祉センター、児童厚生施設等
6. 病院
7. 自動車車庫
8. 自動車教習所
9. ボーリング場、スケート場、水泳場、スキー場、ゴルフ練習場又はバッティング練習場
10. ホテル又は旅館
11. 射的場、勝馬投票券発売所、場外車券売場等
12. カラオケボックス等
13. 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第2条の規定に該当する営業に関わるもの
14. 倉庫業を営む倉庫又は専ら道路貨物運輸業若しくは貨物運送取扱業の用に供する倉庫若しくは荷さばき場
15. 畜舎
16. 工場
17. 危険物の貯蔵又は処理に供する建築物

# 第1章 趣旨 (4) ヴァンジ彫刻庭園美術館について

## ①施設の概要

開 館	2002年 4月	敷地面積	約24,000㎡	施設延床面積	約1,733㎡
来館者数	62,353人 (2019期) 、24,954人 (2020期) 、38,609人 (2021期)				
特 徴	イタリアの彫刻家ジュリアーノ・ヴァンジ作品、クレマチスの庭園				

- ・ **イタリアの現代具象彫刻家ジュリアーノ・ヴァンジの、世界で唯一の個人美術館**として、2002年4月28日に開館
- ・ 1960年代から最近までのヴァンジの彫刻を常設コレクションとし、それらが展示棟並びに庭園のなかで風景と調和しながら点在する。彫刻作品はヴァンジ自らが配置を決め、建物庭園等と一体となった展示となっている。
- ・ **庭園内には、さまざまな品種のクレマチスが四季折々に咲き、一年を通してクレマチスを鑑賞できる。**
- ・ 視覚障害のある方のために、日本の美術館ではじめて視覚障害者向けアプリ「ナビレンズ」を導入するなど、幅広い方が芸術を体感できるような工夫がなされた施設となっている。

### 【譲渡申し出施設】

番号	施設名
①	チケットセンター
②	展示棟
③	ガーデナーズカフェ
④	テッセン (レストラン)
⑤	チャオチャオ (レストラン)
⑥	ショップ棟

第2駐車場 (85台) ※ <スルガ銀行所有>  
第1駐車場 (40台) ※ <ビューエ財団所有>

IZU PHOTO MUSEUM (休館中)  
チケットセンター  
美術館入口  
美術館出口  
フラワーショップ  
KS  
オチャオ  
テッセン  
クレマチスガーデン ヴァンジ彫刻庭園美術館  
カフェピオトープガーデン (ヴァンジ彫刻庭園美術館の入館料がかかります)

至 三島 国道 246

【譲渡申し出箇所】

① チケットセンター

② 展示棟

③ ガーデナーズカフェ

④ テッセン

⑤ チャオチャオ

⑥ ショップ

※第1・第2駐車場は 2023年3月末までに契約解除

# 第1章 趣旨 (4) ヴァンジ彫刻庭園美術館について

## ②資産の状況

(単位：千円)

区分	内容	所有状況等	資産額	
譲渡対象	敷地	約24,000㎡	(一社)ヴァンジ彫刻庭園美術館 390,661	
	建物	チケットセンター	C & C	22,636
		展示棟	C & C (運営はSGIR)	238,043
		ガーデナーズハウス	SGIR	1,206
		テッセン	MKC	64,477
		チャオチャオ	MKC	20,614
		ショップ棟	MKC	53,663
		小計		400,639
	美術品	彫刻2点・絵画4点	岡野家の個人所有	47,000
		版画・デッサン等55点 (ヴァンジ氏寄贈分)	SGIR	調査中
未定	美術品	彫刻2点	スルガ銀行 調査中	
譲渡対象外	美術品	彫刻1点	岡野家の個人所有 -	
		彫刻97点	(一財)ベルナール・ビュフェ美術館 -	
	駐車場	40台分	(一財)ベルナール・ビュフェ美術館 -	
		85台分	スルガ銀行 -	
想定資産額 計			838,300	

都市計画：市街化調整区域  
用途地域：指定なし  
地目：宅地(26筆)

※(一社)ヴァンジ彫刻庭園美術館と、以前の土地所有者(エス・ジー・アセット㈱)及びエス・ジイ・インベストメント・リソース㈱)との受益権売買契約額 4億円

※R3近隣路線価ベースによる試算額 約648,000千円  
(長泉町東野 27,000円/㎡)

### <美術品について>

所有者(現在)	区分	ヴァンジ美術館所蔵数	無償譲渡対象	備考
岡野家	彫刻	3	2	1点は岡野家が引き取り
	絵画	4	4	
SGIR	デッサン・版画等	55	55	
スルガ銀行	彫刻	2	確認中	※1
(一財)ベルナール・ビュフェ美術館	彫刻	97	0	※2
計	彫刻	102	2	
	絵画	4	4	
	デッサン・版画等	55	55	
合計		161	61	

※1 スルガ銀行所有作品2点については確認中  
(令和5年9月末までヴァンジ美術館と賃貸借契約)

※2 (一財)ベルナール・ビュフェ美術館所有の彫刻作品97点は、当面敷地内に存置される。

→ 令和5年3月末までに賃貸借契約解消済み

(敷地、建物に係る資産額は、令和2年度固定資産税評価額)

## 第2章 クレマチスの丘の広域的活用

### <文化の力について>

- 人口減少が進む中で、地域社会を維持していくには、**定住人口・交流人口・関係人口の増加に向けた地域の魅力の向上が不可欠**であり、郷土の豊かな自然や言葉、伝統的な祭りや行事、歴史的な建物など、地域の文化的要素が重要な役割を果たしている。
- 文化芸術を、教育や福祉、観光、地域振興などの活動とも結びつけることにより、**地域の活性化や地域産業の付加価値の向上**に生かすことができる。

### <文化の力の活用により期待される効果>

- ✓ 地域の誇りやアイデンティティの形成、郷土愛の醸成等のポジティブな意識が喚起
- ✓ 景観まちづくりと連動することによる空間的な地域の魅力や価値の増大
- ✓ 観光消費（飲食・宿泊等）や、観光客向けの新規開業に伴う雇用創出効果などの経済的効果
- ✓ 地域イメージの向上に伴う産業の流入や若い世代の移住による人口増



### ◆ 国の動き

- 平成29年、「**観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策との有機的な連携が図られるよう配慮**」することを趣旨として文化芸術振興基本法が改正され、「**文化芸術基本法**」が施行
- 平成30年に閣議決定された「**文化芸術基本計画**」では、「美術館、博物館、図書館等は、文化芸術の保存・継承、創造、交流、発信の拠点のみならず、地域の生涯学習活動、国際交流活動、ボランティア活動や観光等の拠点など幅広い役割を有している」と博物館等の新しい役割について記載

⇒ **文化の振興を観光振興と地域活性化につなげ、それによる経済効果が文化の振興に再投資される好循環の創出**を目的に、「**文化観光推進法**」が令和2年に施行

### 金沢21世紀美術館 (石川県金沢市)

#### 施設

- 芝生を主体とした美しい庭園と開放的な建築デザインを特徴とする当美術館は、1980年以降の現代アートを中心とした世界の芸術作品を収集・展示し、著名なアーティストを招いた公開制作などを通じて、地元の伝統工芸・伝統芸能と現代アートの融合をめざす目的で建設。
- 開館1年で市内人口を3倍ほど上回る158万人来館し、その経済波及効果（建設投資を含む）は300億円を超過。開館7年で入館者は1,000万人に達した。
- 新しい金沢の楽しみ方として、市内で飲食や買い物を楽しみ宿泊し、美術館で半日楽しむというコースが定着。

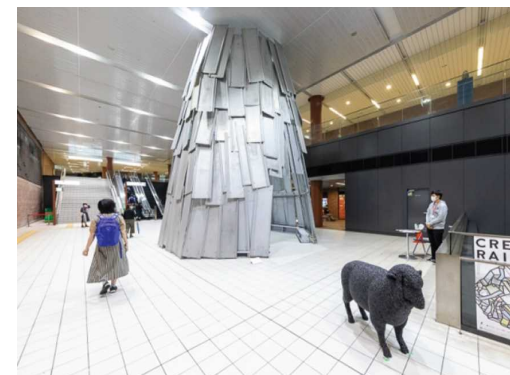


金沢21世紀美術館  
(出所：金沢21世紀美術館公式Twitter)

### クリエイティブシティ・ヨコハマ (神奈川県横浜市)

#### まち

- 文化芸術の創造性をまちづくりに活かし、都市の新しい魅力を創出するとともに、NPOや市民と協働する持続可能なまちづくりを目指すプロジェクト。
- 歴史的建造物や空きオフィス、古い倉庫、駅構内のスペースなどの活用を通じて、アーティストやクリエイターの創造環境を創出。アートからデザイン、ビジネスまで様々な活動が行われ、横浜の新たな魅力の一つになっている。



クリエイティブシティ・ヨコハマ  
(出所：<https://yokohama-sozokaiwai.jp/town/21692.html>)

### 「瀬戸内国際芸術祭」(香川県直島町・小豆島町ほか)

#### イベント

- 瀬戸内海に浮かぶ島と港を舞台に、3年に1度開催される、アート作品を通して島の魅力を表現する現代アートの祭典。
- コロナ禍前の「瀬戸内国際芸術祭2019」では、107日間で約118万人が来場し、その経済波及効果は180億円となった。
- “アートによる地域の活性化を目指す地域”として各地からの視察など、地域の価値創出とイメージアップに貢献しているほか、まちなかでの創作・展示を行うことで、地域住民と観光客との接点が地域活動の活性化や景観まちづくりを誘発し、相乗的なまちづくり効果が見られている。



瀬戸内国際芸術祭  
(出所：瀬戸内国際芸術祭公式Twitter)

## 第2章 クレマチスの丘の広域的活用 (3) 目指す姿

県東部地域が有する文化の力と、世界クラスの文化・観光資源など県東部地域の高いポテンシャルを融合し、観光・交流の拡大や、地域経済の活性化を図る。

### ◆ 東部地域の文化力のさらなる向上

- クレマチスの丘をはじめとする県東部地域の文化施設等を、県民が文化芸術に触れられる場として活用することで、地域の魅力や文化的価値の向上に貢献し、東部地域の文化力のさらなる向上を図る。



クレマチスの丘3館



井上靖文学館  
Yoshino Jōei Library Museum



### ◆ 東部地域のポテンシャル

- 世界遺産富士山や伊豆半島ジオパークなどの世界クラスの文化・観光資源の存在
- ファルマバレープロジェクトなど、高度人材が集積し、国際的な競争力を持ったエリアに発展する可能性

- 富士山世界文化遺産、伊豆半島ジオパーク、世界かんがい施設遺産「深良用水」、世界農業遺産「静岡水わさびの伝統栽培」などの**世界的な観光・文化資源の存在**
- 超高齢社会においても人口増加・地域経済活性化を実現する理想郷を目指す「**医療田園都市（メディカル・ガーデンシティ）構想**」

深良用水  
出典：裾野市HP



富士山と千本松原

### 広域文化・観光拠点として活用することにより新たな人の流れを創出

- 東部地域の文化・観光施設との周遊ルートの創出など、観光活用を促進し、新たな人の流れを創出
- ファルマバレープロジェクトや医療田園都市構想の展開に合わせ、東部地域の持つ魅力を発信し、憩いの場や定住の場として選ばれる地域づくりを促進
- 観光・交流人口の拡大により、観光消費やにぎわいの創出など、地域経済を活性化

### ◆第5期静岡県文化振興基本計画（抜粋）

#### 1. 基本目標と重点施策（p11、p18）

第5期文化振興基本計画（令和4～7年度）では、県民の文化芸術の鑑賞や創造活動への積極的な参加を促すことにより、生涯を通して文化に親しめる創造性豊かな地域社会の実現を目指している。

#### 【第5期基本目標】

多種多様な文化が花開き、一人ひとりが表現者となる「ふじのくに芸術回廊」の実現  
～ 子どもたちを感性豊かに育み、生涯を通して文化に親しめる地域社会を目指して～

- **重点施策2** 社会の多様な担い手による創造的な活動の推進
- **重点施策3** 文化芸術に触れる機会の拡充と人材育成の促進
- **重点施策5** 持続可能な文化活動の推進（観光と結びつけた文化芸術の振興等）

#### 2. 推進すべき政策の方向性

- ・ 文化芸術の鑑賞機会の一層の充実、県全域で文化に触れられる機会の確保
- ・ 子どもや障害のある人などを含むすべての人々が、文化芸術に参加できる機会の拡充
- ・ 鑑賞にとどまらず、文化芸術の創造や交流への県民の積極的な参加の促進
- ・ アートプロジェクトなど、住民参加型の創造活動や参加の場の充実
- ・ 文化資源の観光活用による地域の活性化の促進



第5期静岡県文化振興基本計画



### ◆第5期静岡県文化振興基本計画（抜粋）

#### 「ふじのくに芸術回廊」の文化ゾーンの構築（p47～）

本県は、地域固有の文化資源、美しい自然環境、古くからの歴史の舞台や伝統芸能、特色ある食文化など、「回廊」というにふさわしい様々な文化が各地で展開している。

県内4地域（伊豆、東部、中部、西部）の特色ある文化をつないだ「文化ゾーン」を構築し、それらをつなげることで「ふじのくに芸術回廊」の実現を目指す。

#### ◆東部地域

- 世界文化遺産富士山が古来より人々の憧憬と信仰の対象となり、構成資産をはじめ、多くの文化財を残している地域。
- 旧東海道の小田原宿から箱根峠を越えて三島宿に至る箱根八里は、日本遺産に認定された文化ゾーン。
- 国宝を有する民間の美術館も多く、**長泉町のクレマチスの丘にも文化芸術拠点としての魅力がある。**
- 富士山に加え伊豆・箱根とも隣接した東部地域は、主に首都圏からの観光需要が多く、文化資源を効果的に観光に活用した文化振興が期待される。

#### <目指す姿>

- 富士山や伊豆・箱根地域の観光の拠点となる街の特徴を生かし、首都圏を中心に国内外との交流を活性化し、観光と経済が効果的にマッチした文化振興を展開する地域
- 世界文化遺産富士山の価値を地域総がかりで守り、世界に魅力を発信し、その恵みを共有・活用することで、世界に誇る独自の文化を発展させる地域

## 第2章 クレマチスの丘の広域的活用 (6) 文化拠点としてのクレマチスの丘

- クレマチスの丘は、3館（ベルナール・ビュフェ美術館、長泉町井上靖文学館、ヴァンジ彫刻庭園美術館）により、**東部地域の文化力のさらなる向上に貢献する「文化拠点」の一つとなる潜在力を有している。**
- 近隣の県立静岡がんセンターの患者・家族や職員のレクリエーションや憩いの場としても活用されている。



ベルナール・ビュフェ美術館

絵画

- 1973年開館
- 戦後の具象画壇を代表するフランスの画家ベルナール・ビュフェの作品2000点以上を所蔵・展示し、世界一のコレクションを誇る

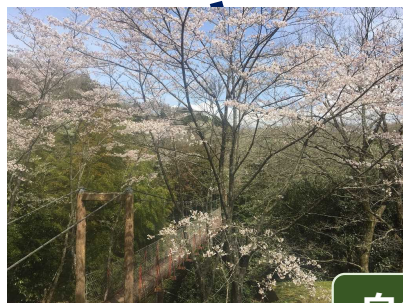


長泉町井上靖文学館

文学

- 1973年開館
- 代表作「あすなる物語」中の歌「寒月ガカレバ キミヲシノブカナ 愛鷹山ノフモトニ住マウ」にちなみ、この地に開館
- 初版本や限定本などの希少な書籍、原稿など約3000点の資料を所蔵

### 東部地域を代表する文化的エリアを形成



駿河平自然公園

自然

- 自然の地形そのままの総面積約43,000㎡の広大な公園
- 長さ130メートルの吊り橋や芝生広場、展望台、池などがあり、桜の名所としても知られている



ヴァンジ彫刻庭園美術館

彫刻

庭園

- 2002年開館
- イタリアの現代具象彫刻作家ジュリアーノ・ヴァンジの世界で唯一の個人美術館
- 一年を通してクレマチスを鑑賞できる庭園と彫刻作品が一体となった展示となっている

クレマチスの丘の玄関口であるヴァンジ彫刻庭園美術館の休館により、丘全体の文化的魅力が低減

⇒ 東部地域を代表する文化拠点が消滅の可能性

### ◆ 来訪者の減少 △約7万人/年

- ・ ヴァンジ彫刻庭園美術館：△約5万人/年
- ・ ベルナル・ビュフェ美術館：△約1.2万人/年  
(来館者約4万人のうち3割がヴァンジ彫刻庭園美術館を目的に来訪)
- ・ 長泉町井上靖文学館：△0.4万人/年  
(来館者約1万人のうち4割がヴァンジ彫刻庭園美術館を目的に来訪)

※各館からの聞き取りによる推計

### ◆ 経済的価値の減 (調査中)

- ・ ヴァンジ彫刻庭園美術館 入館料収入 △32,000千円
- ・ レストラン (テッセン、チャオチャオ) 売上収入 △94,302千円
- ・ ベルナル・ビュフェ美術館 入館料収入 △12,000千円
- ・ 長泉町井上靖文学館 入館料収入 △800千円



### ◆ 東部地域における文化施設の需要

- 東部地域においては、「博物館・美術館」、「県民の文化活動の場」や「県立美術館のサテライト」が求められている。(東部20市町の文化行政担当課へのアンケート調査より)
- 住んでいる地域の文化的環境に満足していない理由として「ホール・劇場、美術館、博物館などの文化施設が充実していない」ことを挙げる東部地域の県民が多い。  
(「令和3年度文化に関する意識調査(静岡県)」調査結果報告書より)

➤ 東部地域では、「博物館・美術館」、「県民の文化活動の場」、「県立美術館のサテライト」など、公立文化施設のさらなる充実が求められている。



県が、市町と連携し、休館したヴァンジ彫刻庭園美術館の施設・土地を有効に活用して 「新たな文化施設」とすることで、

- クレマチスの丘の文化力をさらに高め、新たなひとの流れを創出して地域経済を活性化
- 文化振興基本計画の重点施策(県民の創造的な活動の推進や文化芸術に触れる機会の拡充等)を確実に遂行
- 東部地域における県民の鑑賞機会充実の需要に応え、住民の文化的環境の満足度を向上させる

## 第3章 新たな文化施設の展開

# 第3章 新たな文化施設の展開 (1) コンセプト

- 東部地域における需要を踏まえ、**県民の鑑賞機会を確保（サテライト機能）**
- アーティストの創作・交流、県民の創造活動への主体的な参加や、演劇・音楽など多彩な分野の文化芸術の体験の機会を提供することにより、**県民の創造性を高め、アートを通じた新たな人の流れを創出するアートセンター的な機能を付加**
- 県の文化事業に加えて、地域の文化力のさらなる向上のため、**市町の文化事業等を展開**
- 施設・庭園のポテンシャルを活かし、**民間等の利用を含めた幅広い目的で活用**

## 1. 県立施設等のサテライト機能や新たな文化事業の展開

県事業

- 県立美術館やふじのくに地球環境史ミュージアム、SPACなどの東部地域におけるサテライト実施
- 県事業のサテライト実施（ふじのくに芸術祭、ふじのくに子ども芸術大学 等）
- 障害者芸術の推進拠点（障害者芸術祭 等）

+ 新たな文化事業

- 子ども、障害のある人の芸術体験
- 県民の作品発表、創作、交流
- 首都圏等のアーティストが滞在して創作活動・発表
- 演劇、音楽、美術など異分野が融合した文化芸術の発表

アートセンター

## 2. 市町事業の展開

地域連携

- 施設内に、東部・伊豆地域の市町などが文化事業等を展開する場の確保
- 上記に加え、クレマチスの丘内施設等を活用した市町事業（文化事業、教育事業等）の実施

## 3. 施設・庭園を活用した多目的利用（民間等も活用）

施設のポテンシャル

- ファルマバレープロジェクトと連携したアートケア事業
- 会議・イベント等スペースの貸与
- レストラン・ショップの展開

# 第3章 新たな文化施設の展開 (2) 【柱①】県立施設等のサテライト機能や新たな文化事業の展開

- 県立美術館やふじのくに地球環境史ミュージアム等県立施設の企画展や、SPAC公演、ふじのくに芸術祭等の県事業をサテライト実施
- さらに、新たにアートセンター機能を付加し、県民の創造性を高め、アートを通じた新たな人の流れを創出



移動美術展  
(県立美術館)



移動ミュージアム  
(ふじのくに地球環境史ミュージアム)



アートプロジェクト  
(アーツカウンシルしずおか)



SPAC公演



障害者芸術祭 (作品展示)

## アートセンター機能

(例)

- 施設、庭園を活用し、県民の作品展示・交流やアーティストの創作・発表の場を提供
- 演劇、音楽、美術など異分野が融合した文化芸術の発表 など

県民作品の展示



展示棟内でのコンサート



アーティストの公開制作



庭園でのパフォーマンス

- 子どもや障害のある人などを含むすべての人々が、文化芸術に参加できる機会を拡充
- 鑑賞にとどまらず、文化芸術の創造や交流への県民の積極的な参加を促進

# 第3章 新たな文化施設の展開 (3) 【柱②】市町事業の展開

- 地域の文化力のさらなる向上のため、施設内に東部・伊豆地域の市町などが利用できる場を確保し、市町の文化事業や教育事業等を実施

## ◆想定される市町の具体的な取組

### <文化拠点としての展開>

- 多文化共生への理解促進
- 市町内文化施設との共催イベント
- 無形民俗文化財の披露
- 美術ワークショップ
- 障害者芸術の振興

(活動支援、作品展示等)



子ども向け  
アートワークショップ

### <文化教育プログラムの展開>

- 小中学校授業 (作品鑑賞・自然観察)、写生大会
- 小学校、幼保こども園の遠足・校外学習
- 幼稚園教諭や保育士のアート研修
- 地域に根ざした教育の推進

学校授業



### <観光交流施設としての展開>

- 広域観光ネットワークの構築
- 圏域の自治体や関係団体との連携による地域観光の魅力向上

### <多彩なイベントの舞台>

- まちづくり交流イベントの推進
- さくらフェスタ等イベント開催
- 健康ウォーキング

### <広域的に実施する取組 等>

- 近隣市町を回遊するオンデマンド交通の導入
- 移住者・希望者向けバスツアー



市町イベント



子育て支援事業

### クレマチスの丘内の施設と連携

- 市町施設と井上靖文学館との共催イベント
- 市町ゆかりの作家等の講演会
- 版画の旅スタンプラリー





# 第3章 新たな文化施設の展開 (4) 【柱③】施設・庭園を活用した多目的利用

- ファルマバレープロジェクトと連携したアートケア事業の実施や、企業による講演会・レセプション、ウェディングの開催、ファッション誌等のロケーション貸しなど、施設や庭園を多目的に活用

広場でのイベント



アートケア



飲食スペース



ファッション誌等の  
ロケーション貸し



ガーデンツアー



講演会



レセプション



キャンドルナイト



ウェディング



# 第3章 新たな文化施設の展開 (5) 新たな文化施設の概要

- ・ 展示棟及び庭園は**入場料を徴収**し、県事業のサテライト実施やアートセンター機能を付加
- ・ 道路から近いギャラリー・ショップ棟、レストラン棟は**無料入場ゾーン**とし、主に市町事業を展開する場、飲食・物販運営を行う場として活用

## ギャラリー・ショップ棟 (3 部屋)

### <県事業のサテライト>

- ・ 県民の作品展示

無料入場ゾーン

### <市町事業の展開>

- ・ 市町が優先的に文化事業等を実施するスペースの確保
- ・ アートワークショップの実施

### <多目的利用> ※収益事業として実施

- ・ 貸しギャラリー
- ・ ショップ運営 (地元名産品、花、小物等)

## 庭園

入場料徴収

### <県事業のサテライト>

- ・ SPAC公演等の屋外実施
- ・ アーティストの創作・発表の場の提供 **【アートセンター機能】**

### <市町事業の展開>

- ・ 子育て支援事業の実施
- ・ イベントの開催

### <多目的利用> ※収益事業として実施

- ・ 地元食材を使用したマルシェの開催
- ・ ガーデン・ウェディング
- ・ ガーデニング講習会 等



## 展示棟

入場料徴収

### <県事業のサテライト>

- ・ 県立美術館、ふじのくに地球環境史ミュージアムの移動企画展やSPAC公演等を**常時実施**
- ・ 県民の作品展示・交流の場やアーティストの創作・発表の場の提供 **【アートセンター機能】**

### <市町事業の展開>

- ・ 市町による教育事業 (学校授業) 等での利用

### <多目的利用> ※収益事業として実施

- ・ 企業講演会・レセプション
- ・ ウェディング (挙式)

## レストラン棟 (2 棟)

無料入場ゾーン

### <多目的利用> ※収益事業として実施

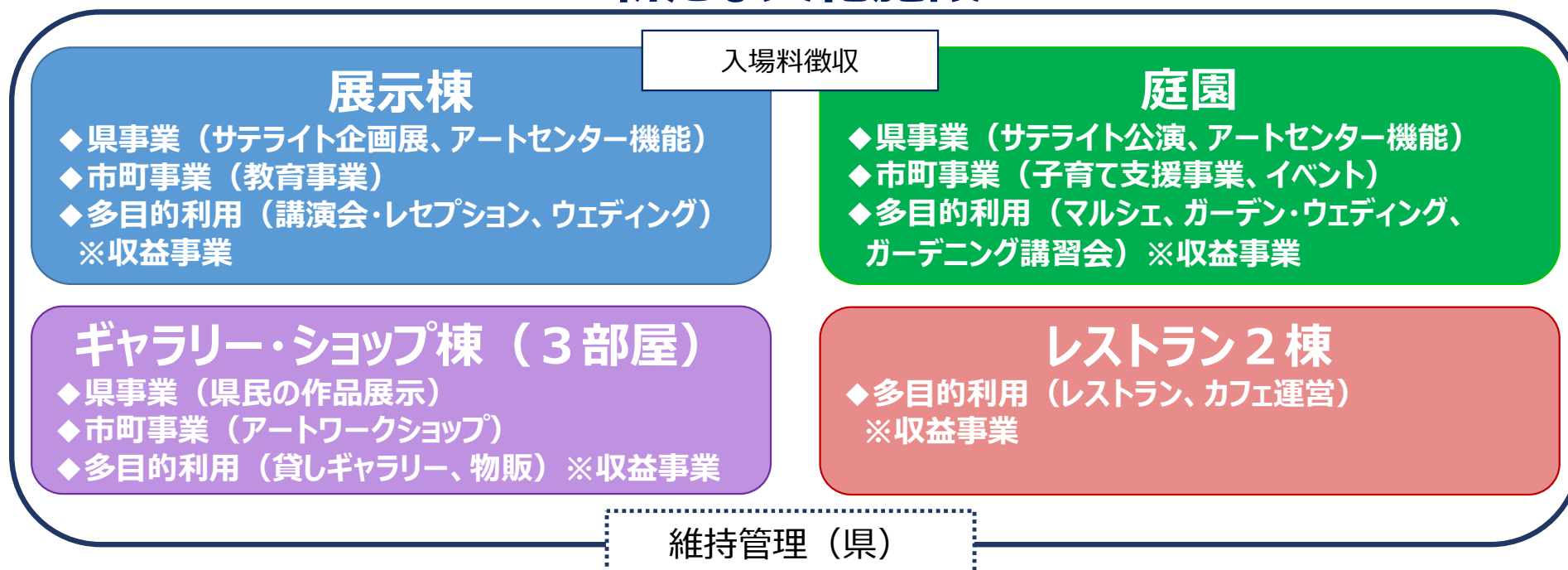
- ・ 高級志向のレストランやカフェスペースとして運営

※周辺に駐車場を確保

## 第4章 新たな文化施設の事業スキーム

## ヴァンジ彫刻庭園美術館の譲渡を受け入れる場合の事業スキーム (県と市町の役割)

### 新たな文化施設



#### <県>

- 県は指定管理者を公募し、
- 施設の**維持管理**
  - **県事業** (サテライト、障害者芸術、アートセンター機能等) の実施
  - **多目的利用** (民間等による利活用、飲食・物販等) の促進 ※収益事業

#### <地元自治体> ※調整中

- **市町事業** の実施
  - ・文化事業 (ワークショップ、イベント等)
  - ・教育事業 (学校授業等)
  - ・まちづくりイベント 等

# 第4章 新たな文化施設の事業スキーム (2) コスト試算

- 新たな文化施設に係る経費：精査中
- 収入想定：入館料 21,250千円、施設使用料：精査中

## <維持管理費>

(単位：千円)

区分	内容	概算
県 施設維持 管理費 (指定管理・収支ベース)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 業務委託費</li> <li>• 水道光熱費</li> <li>• 備品費</li> <li>• 小破修繕費 ほか</li> </ul>	約90,000

## <初期施設改修費>

区分	内容	概算
	精査中	

## <事業費>

区分	内容	概算
	精査中	

## <収入想定>

- **入館料500円**
  - 年間を通じ企画展等を開催
- **入館者数 50,000人/年**
  - (参考) R3来館者数実績  
県立美術館：68,506人  
ふじのくに地球環境史ミュージアム：62,766人
- **施設使用料（貸しスペース）※精査中**
  - 民間等による多目的利用や市町事業における公有財産使用料（使用面積に応じて算出）

**21,250千円/年**

※有料入館者の割合を85%として算出

### 【参考】

- ✓ **R5美術館運営事業費 341,116千円**  
(うち施設維持管理費 216,980千円)  
(その他(展覧会開催費等) 124,136千円)
- ✓ **R5ふじのくに地球環境史ミュージアム管理運営事業費 161,000千円**  
(うち施設維持管理費 71,199千円)  
(その他(展覧会開催費等) 89,801千円)

※県直営施設のため人件費は含まれない。

## 第5章 東部地域の文化振興ネットワークの構築

## ◆地域の文化力のさらなる向上を図るプラットフォームの構築

- 東部地域の文化力のさらなる向上を図るため、県、東部・伊豆地域の市町、地域内の文化施設、観光関係者、経済界などが連携するプラットフォームを立ち上げ、クレマチスの丘をプラットフォームが実施する文化芸術活動拠点の一つとして位置付ける。

## ◆クレマチスの丘エリアの施設による連絡会

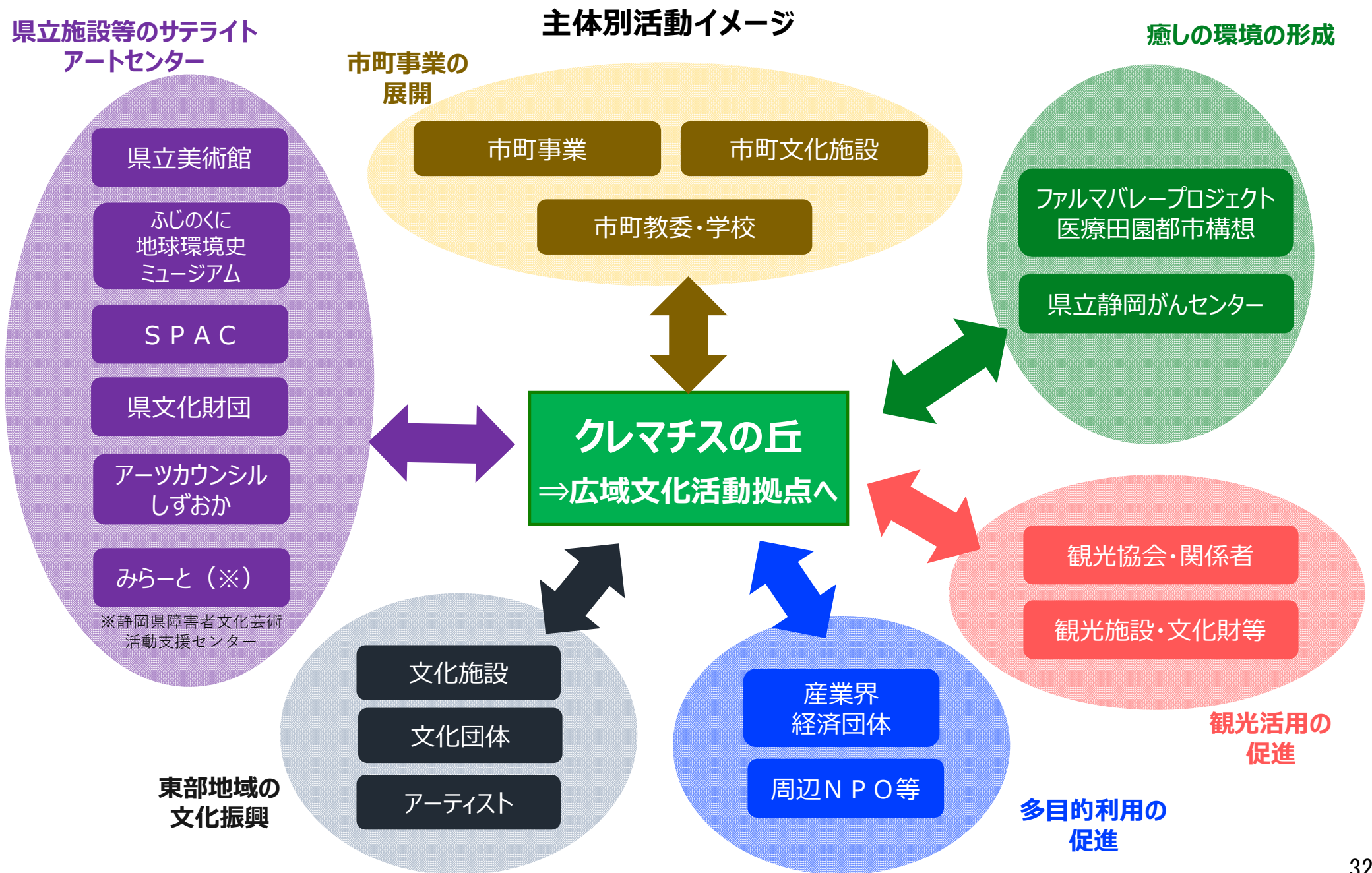
- 県（新たな文化施設）、ベルナール・ビュフェ美術館、長泉町（井上靖文学館、駿河平自然公園）による連絡会を立ち上げ、クレマチスの丘の一体的な広報、共同事業の実施など、利活用促進を検討、推進する体制を構築



※民間からも提案「クレマチスの丘全体を広域文化活動拠点として活用を」

2023年2月に、サンフロント21懇話会が、クレマチスの丘を活用した東部地域における文化戦略の展開について、知事に提言を行った。 31

## クレマチスの丘エリアを広域文化活動拠点として活用





クレマチスの丘を東部地域の新たな文化拠点の一つに位置付け、世界クラスの文化・観光資源など東部地域の高いポテンシャルと融合することで、観光・交流の拡大や、地域経済の活性化など、**県東部地域のさらなる発展を目指す。**



富士山本宮浅間大社



静岡がんセンター



戸田の漁師踊・漁師唄  
出典：しずおか文化財ナビ



深良用水  
出典：裾野市HP



浄蓮の滝



ならんだの里

### ◆国内外から選ばれる地域づくり

ファルマバレープロジェクトや医療田園都市構想の展開に合わせ、東部地域の持つ文化の魅力を上向・発信することで、国内外から、新たな産業集積の場、定住の場として選ばれる地域づくりを促進

白 紙

# 資料集

## 第5期静岡県文化振興基本計画(2022～2025)の概要(施策体系)

【基本目標】

多種多様な文化が花開き、一人ひとりが表現者になる「ふじのくに芸術回廊」の実現  
～ 子どもたちを感性豊かに育み、生涯を通して文化に親しめる地域社会を目指して ～

＜考え方＞

芸術回廊の総仕上げとして、子どもから高齢者、障害のある人も含め、すべての人々が様々な文化にふれることで多様性を認め合うとともに、文化や芸術の概念を生活の中にも広げて、人々が文化芸術に関わり感動し、行動することで「誰もが表現者」となれる社会を理想の姿として目指していきます。

### 【重点施策1】世界に輝くしずおかの文化芸術の振興

富士山をはじめとする本県の優れた文化資源の魅力を磨き、新しい価値を創造し、その価値を普及することにより、本県に住むことに誇りを持つ文化環境を整えるとともに、その魅力を国内外に発信し、定住人口はもとより、関係人口・交流人口の拡大につなげていきます。

#### SPACによる「演劇の都」推進

・世界レベルの演劇作品の創造 ・国内外での公演  
・ふじのくにせせかい演劇祭

#### 食文化の振興と発信

・世界お茶まつり ・ふじのくに食の都づくり仕事人  
・ふじのくに地球環境史ミュージアムにおける学び、体験機会の提供

#### 特色ある文化をつなぐ「文化ゾーン」の構築

・県内各地の文化財、歴史遺産、食文化等をつなげた「面」としての活用  
・「しずおか遺産」認定事業を活用した地域の活性化

- 静岡国際オペラコンクールの開催(2023)
- 伊豆文学賞の実施
- 世界遺産富士山の文化的価値の発信
- 県立美術館40周年に向けた取組 など



＜SPAC＞

### 【重点施策2】社会の多様な担い手による創造的な活動の推進

多様な人々が多様な価値を認め合う共生社会の実現に向けて、多くの県民の文化芸術活動への参加を促し、文化芸術を活用した創造性ある活動を、社会や地域の様々な分野に広げていきます。

#### ふじのくに芸術祭・障害者芸術祭を一体化して開催

・県文化協会・障害者福祉団体等との連携によるインクルーシブな芸術祭の開催  
・静岡県すこやか長寿祭 ・市町等主催の公募展との連携

#### アーツカウンシルしずおかによる住民主体のアートプロジェクトの促進

・創造的なプロジェクトへの支援 ・アーティスト等と地元住民の交流

- 県文化施設等における体験型ワークショップ・参加型イベント等の充実
- 顕彰等による県民の文化活動の促進 など



＜アートプロジェクト＞

### 【重点施策3】文化芸術に触れる機会の拡充と人材育成の促進

他者と共感し合うことができ、創造性に富んだ感性豊かな地域社会を形成するため、多種多様な文化を老若男女、国籍を問わず、生涯を通じて、また地域に関係なく誰もが享受できる機会の充実を図るとともに、若者たちの感性や創造性を育む取組を進め、本県の次代の文化芸術を担う人材を育成します。

#### 「ふじのくに文化教育プログラム」の展開

・SPAC演劇アカデミー ・ふじのくに子ども芸術大学  
・県文化施設の教育活用の推進

#### 多彩な文化芸術の鑑賞機会の提供(グランシップ、SPAC)

・グランシップにおける多彩な企画事業(アート展、文楽講座、音楽公演など)  
・SPACによる舞台芸術作品の創造と鑑賞機会の提供

#### 県文化施設における鑑賞機会の提供

(県立美術館、ふじのくに地球環境史ミュージアム、富士山世界遺産センター)  
・移動美術展、出張講座等のアウトリーチ活動、体験教室

- 文化に関わる人材育成の促進 など



＜ふじのくに子ども芸術大学＞

### 【重点施策4】文化芸術を振興する仕組みの充実

県内の文化活動がより一層活発化するよう、アーツカウンシルしずおかの設置を踏まえて、県内の各種文化施設や大学など、関係機関のネットワーク化や産業等の多分野との連携など、文化振興を効果的に推進できる体制や仕組みを構築します。

#### 県文化財団等文化団体の体制強化

・県実施事業の見直し、財団への業務移管の検討  
・県文化協会の体制強化支援

#### 文化施設、関係団体の連携強化

・市町等文化行政推進連絡会議  
・県公立ホール連携支援研修事業

- 舞台芸術公園の演劇の拠点化の推進 など



＜グランシップ＞

### 【重点施策5】持続可能な文化活動の推進

コロナ禍において明らかになった課題等を踏まえ、文化芸術が社会に果たしている役割を再認識し、様々な分野との連携を進めるとともに、活動・鑑賞方法の多様化などを一層促進し、あらゆる事態が生じても持続可能な文化活動のあり方を模索していきます。

#### 観光と結びつけた文化芸術の振興

・「観光デジタル情報プラットフォーム」との連携  
・舞台芸術公園の観光活用

#### 文化施設のデジタル化の推進

・キャッシュレス決済、事前予約システム  
・オンライン催事、館内ストリートビューの充実

- 文化活動の継続に向けた財源確保
- 文化資源を災害等から守る体制の充実 など

# 資料集 ヴァンジ彫刻庭園美術館対応検討会（令和4年1～3月）

## ◆委員名簿（役職はR4.3月現在）

氏名	役職	備考
加藤 賢二	静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合理事長 堂ヶ島ホテル天遊代表取締役社長	
木下 直之	静岡県立美術館館長	
櫻井 透	静岡県立美術館第三者評価委員会委員 静岡銀行株式会社 元会長	委員長
佐藤 克昭	静岡県行政経営推進委員会委員長 佐藤経済研究所長	
鈴木壽美子	静岡県文化財団理事長 静岡県文化協会会長	
渡邊 靖乃	静岡県教育委員 みしまコロッケの会会長	

（五十音順、敬称略）

## ◆経緯

日付	内容
令和4年 1月21日	ヴァンジ彫刻庭園美術館対応検討会設置 第1回ヴァンジ彫刻庭園美術館対応検討会開催 ・ヴァンジ彫刻庭園美術館の現状 ・県の検討状況
2月17日	第2回ヴァンジ彫刻庭園美術館対応検討会開催 ・ヴァンジ彫刻庭園美術館の活用方法について
3月18日	第3回ヴァンジ彫刻庭園美術館対応検討会開催 ・ヴァンジ彫刻庭園美術館対応検討会のとりまとめ について

## ◆ヴァンジ彫刻庭園美術館対応検討会報告書（令和4年3月）

### <趣旨>

- ・ ヴァンジ彫刻庭園美術館は、20年の歳月をかけて築いてきた県内有数の文化・観光拠点である。一度閉館してしまうと、その価値を取り戻すことはできない。
- ・ 課題の解決、または解決に向けた調整を継続することを前提に、当美術館の譲渡を受け入れる価値があると判断する。

### （課題）

- ①現状の継続ではなく、新たな活用コンセプトを明確化すること
  - ②地域との連携を図り、地元市町等の負担も想定すること
  - ③ヴァンジ彫刻作品及び駐車場の賃貸借関係を解消すること
- ・ 県は、活用コンセプト、それに基づく活用方法、中期的な収支計画等を明らかにし、十分検討した上で、申し出への対応を判断すべき。

# 資料集 東部地域文化施設等検討調査報告書（令和4年11月）

## ◆東部地域20市町における博物館・美術館の実態の調査分析

- 県東部地域・伊豆地域の20市町に所在する博物館・美術館（類似施設を含む）の102施設のうち、6割以上が民間施設となっており、特に観光が盛んな伊豆地域において多く立地している。

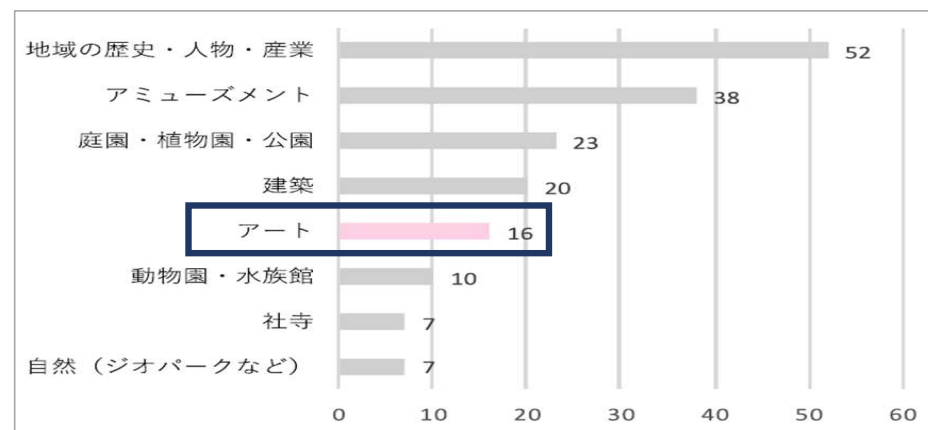
- 8つの属性の観点から該当するものを見てみると、「地域の歴史・人物・産業」、「アミューズメント」に該当する施設が多い。
- 「アート」に該当するものは、ヴァンジ彫刻庭園美術館を含めて16施設あり（MOA美術館、佐野美術館など）、入場者数上位を占める傾向が確認された。

### <県東部地域の博物館数>

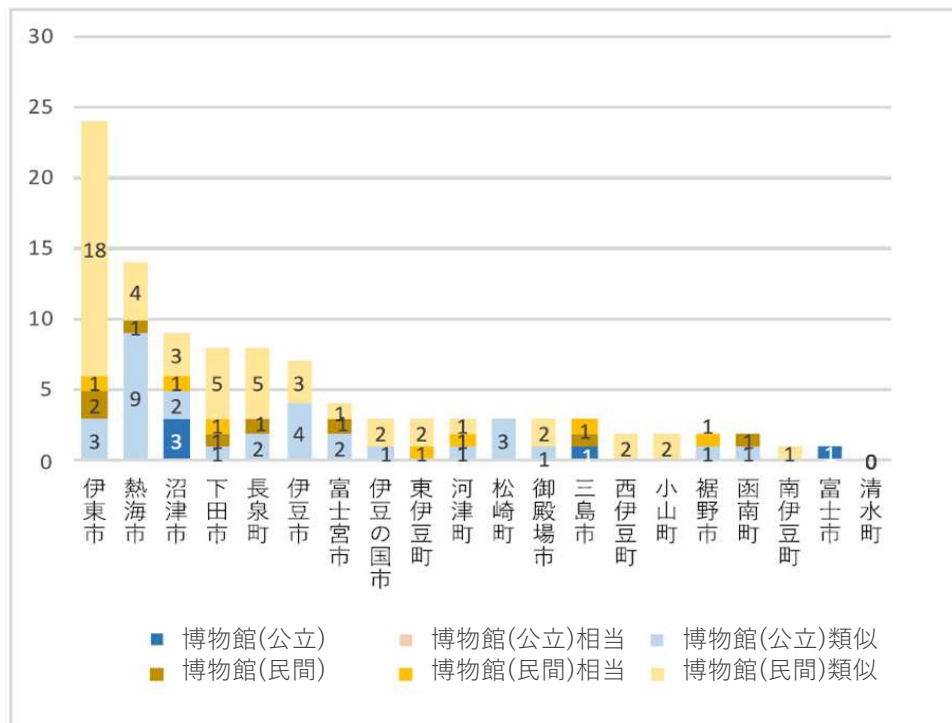
博物館(公立) (36)	博物館	5
	相当	0
	類似	31
博物館(民間) (66)	博物館	8
	相当	7
	類似	51

合計 102

### <属性ごとの施設数>



### <市町別博物館数>



### <5年平均（H29～R3）入場者数上位施設>

- 〔公〕静岡県富士山世界遺産センター（富士宮市） 280,468人
- 〔民〕MOA美術館（熱海市） 158,651人
- 〔民〕佐野美術館（三島市） 61,378人
- 〔公〕富士山かぐや姫ミュージアム（富士市） 46,443人
- 〔民〕ヴァンジ彫刻庭園美術館（長泉町） **46,108人**
- 〔公〕中山晋平記念館（熱海市） 28,982人
- 〔公〕昭和の森会館（伊豆市） 28,099人
- 〔公〕熱海市立澤田政廣記念館（熱海市） 26,737人
- 〔公〕伊豆の長八美術館（松崎町） 17,629人
- 〔民〕池田20世紀美術館（伊東市） 14,517人

※下線は「アート」に該当する施設

※ベルナルド・ビュフェ美術館単館のデータなし

## ◆東部地域20市町の文化行政担当課へのアンケート調査

### ●東部地域に求められている文化施設は、「博物館・美術館」や「県民の文化活動の場」

1位「博物館・美術館」、2位「県民の作品展示・創作・交流の場」、3位「文化ホール」

### ●県施設となった場合のヴァンジ彫刻庭園美術館に求められている役割は、「庭園を生かした美術館」、「県民の文化活動の場」や「県立美術館のサテライト」

1位「現在の作品展示と庭園メインの美術館」、2位「県民の作品展示・創作・交流の場」、  
3位「県立美術館移動美術展の東部拠点」及び「演劇・音楽など様々な文化芸術の作品上演・展示の場」

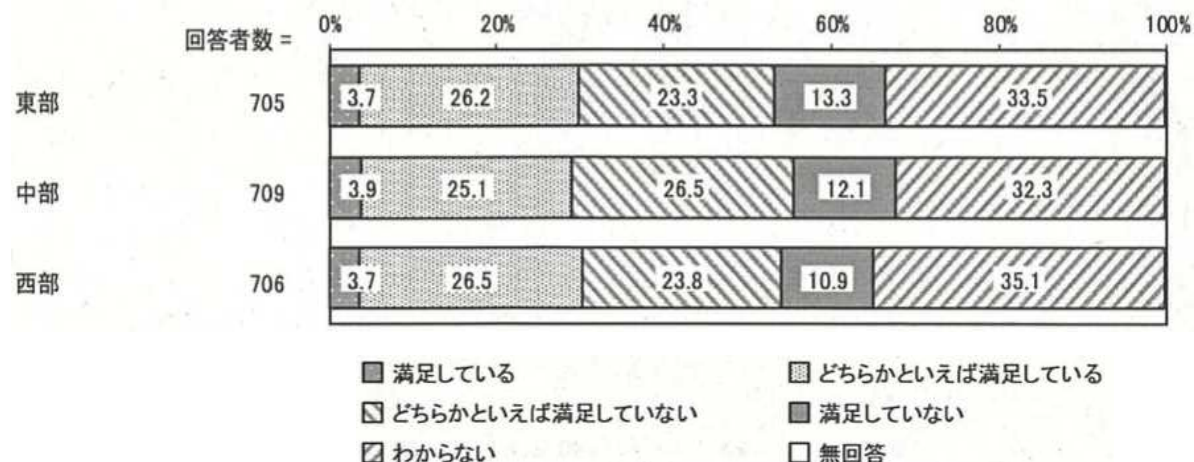
東部地域に必要とされる文化施設は何だと思われますか			
	項目	実数	割合
1	博物館・美術館（登録博物館または博物館相当施設）	16	80.0
2	アートセンター（県民の作品展示、創作、交流を行う場）	13	65.0
3	文化ホール	9	45.0
4	劇場	7	35.0
5	その他	1	5.0

ヴァンジ彫刻庭園美術館が県の所有になった場合、どのような方向性での運営が望ましいと思われますか			
	項目	実数	割合
1	観光客向けに作家の作品展示と庭園の散策をメインとする（従前どおり）	13	65.0
2	鑑賞に限らず、県民の作品展示、創作、交流を行うアートセンターとする	12	60.0
3	県立美術館の分館として、県立美術館の移動美術展の東部拠点とする	11	55.0
3	美術に限らず、演劇、音楽などさまざまな文化芸術の作品上演・展示を行う場とする	11	55.0
5	子どもに無料で開放し、アートや自然と触れ合える子どもの居場所とする	10	50.0
6	近隣の県立がんセンターと連携し、アートとケア、アートセラピーなどに取り組む施設とする	9	45.0
6	地域の美術館、博物館その他の文化・観光施設と広域的に連携し、県内外からの集客及び地域の活性化を図るための地域のネットワークの拠点とする	9	45.0
8	障害児（者）の文化芸術教育普及の研究活動の場、創造作品の発表の場とする	8	40.0
8	地元マルシェと連携するなど、食や観光と連携した文化イベントを開催できる場とする	8	40.0
10	アーツカウンシルしずおかのサテライト拠点とする	7	35.0
11	庭園を利用した自然観察や遊び、周辺地域を含むネイチャーウォークなどを展開する	5	25.0
12	海外からの賓客等をもてなすレセプション会場とする	3	15.0

東部地域の県民の「文化的な環境に満足していない理由」は、「ホール・劇場、美術館、博物館などの文化施設が充実していないため」が、中部、西部地域の県民より多い。

● 文化的な環境への満足度

県民への「文化に関する意識調査」によれば、「お住まいの地域での文化的環境に満足していますか」の間では、県内エリアによる大きな差異は見られない。



● 文化的な環境に満足していない理由

「満足していない」「どちらかといえば満足していない」と回答した人にその理由を聞いたところ、東部地域では、「ホール・劇場、美術館、博物館などの文化施設が充実していないため」と回答した人の割合が、中部、西部地域と比べて高くなっている。

単位：%

区分	回答者数（件）	ホール・劇場、美術館、博物館などの文化施設が充実していないため	歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりがされていないため	地域の芸能や祭りなど、歴史的な文化資源が希薄なため	公演、展覧会、芸術祭などの文化事業が充実していないため	公演、展覧会、芸術祭などの文化・芸術を体験する機会や教えてくれる人がいないため	習い事やワークショップ等の文化・芸術を体験する機会や教	自身の作品や成果を発表したり表現する機会が少ないため	人とのつながりが希薄であることにより、地域の文化的な取り組みに参加しづらいため	その他	無回答
東部	258	58.1	33.7	24.8	32.6	19.8	3.9	17.4	2.7	—	
中部	274	42.7	35.0	26.3	28.1	18.6	6.6	22.3	6.2	—	
西部	245	48.6	27.8	18.8	38.0	14.7	2.9	23.7	6.5	—	



## ◆経緯

- クレマチスの丘に関する3市2町打合せ会  
(令和5年1月23日)
- **「クレマチスの丘広域的活用構想検討会議」  
設置** (令和5年2月27日)
- 第1回クレマチスの丘広域的活用構想検討  
会議開催 (令和5年3月17日)
- 第2回クレマチスの丘広域的活用構想検討  
会議開催 (令和5年6月7日)

## ◆構成員 (令和5年6月1日現在)

区分		構成員
県		スポーツ・文化観光部 文化局
		東部地域局
市町	長泉町	総務部門
		教育部門
	沼津市	文化振興課
	三島市	政策企画課
		文化振興課
	裾野市	戦略推進課
		生涯学習課
	清水町	企画課
		社会教育課